

vol.07

スポーツには、言葉、性別、人種、障がいなどの壁はありません。そして健康や生きがいづくり、地域や経済の活性化、国際交流などに密接に関わり、人と人、企業と企業、北海道・札幌のモノ・コトをつなぐ大切な役割を担っています。このようなスポーツによるまちづくりについて、HTBアナウンサーの五十幡裕介さんにお話を伺いました。

「スポーツが好き！」がすべての原動力  
感動を分かち合い  
熱い思いを届けたい



HTB北海道テレビ放送 アナウンサー  
五十幡 裕介 さん

1991年生まれ、東京都出身。2014年にHTBに入社し、全国高校野球選手権大会はじめスポーツ全般の実況中継・インタビュー等を行なう。出演中の「イチオシ!!」ではスポーツコーナーと、金曜日のサブMCを担当。

幼少時代から変わらぬスポーツ愛  
時には支えに、時には突き動かす力に

子どもの頃からスポーツ全般、するのも観るのも大好きでした。特に野球は物心がつく頃にはすでにカラーバットを振って遊んでいたほどで、少年時代の夢はもちろん「プロ野球選手」！小学生の時に股関節の病氣と腰痛を患い夢は叶いませんでしたが、スポーツが大好きな思いはずっと変わることはなく、どんな時も心の支えであり続けました。選手としては難しくても「大好きなスポーツに関わりたい」という思いがアナウンサーを志すきっかけとなり、現在も自分らしく生きる上で大きな原動力になっています。

改めて感じたスポーツに関われる喜び  
放送を通じて驚きや感動を共有したい

2018年から、かねてより夢のひとつでもあった夏の甲子園大会の実況中継を担当しています。これまで特に印象的だったのは、コロナ禍で2年ぶりの開催となった2021年度大会。原則無観客という制限の中、球児たちの甲子園で野球ができる喜びや一球一打にかけるひたむきな姿が胸に迫り、改めてスポーツの大切さとスポーツに関われることの有難さを実感しました。こうしたスポーツの素晴らしい瞬間に接して生まれる、純粹な驚きや湧き上がる感動が僕の原点。このかけがえない感覚を、球場やテレビの向こうで応援するすべての人と分かち合いたい。自分自身もスポーツを愛する一人だからこそう伝えられる言葉で共感と一体感を呼び起こし、「スポーツって楽しい！」と思ってもらえる放送をこれからもお届けしたいです。

いい人、いい街  
#まいにち金メダル

さっぽろの魅力的なヒト・モノ・コトに金メダルを贈り合う「まいにち金メダル」プロジェクト実施中



食や自然など多くの魅力に恵まれた「笑顔になれる街」さっぽろをイメージしたロゴです  
問い合わせ先  
札幌市総務局広報部広報課 ☎011-211-2036

